日ASEAN首脳声明　概要

1．意義

2026年11月　外務省地域政策参事官室

- **進化したFOIPとインド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）**が「**本質的原則を共有**」し、整合的であることを改めて強調し、両者の「**相乗効果**」を再確認。
- 進化したFOIPの下、各国の**「自律性」や「強靱性」を強化し、「共に強く豊かに」なることに向けた支援・協力**を示す。具体的には、日ASEAN双方の関心が高い**新興経済分野**（エネルギー、GX、サプライチェーン、AI・デジタル等）を中心とした**経済強靱化**のための協力を推進し、未来への投資を加速させる**「モメンタム」を創出。**

2．声明概要

(1) 前文

- 進化したFOIPを通じ、各国の自律性と強靱性の強化を目指し、分断や対立ではなく協力を促進する日本の取組を歓迎。
- AOIPとFOIPの本質的原則の共有及び両者が強力な相乗効果を生み出すことを再確認。

(2) 本文

以下の取組等を通じて協力を推進。

Ⅰ．経済レジリエンス：エネルギー・食料・サプライチェーン安全保障

ア　エネルギー安全保障

- **ホルムズ海峡**における安全で妨げのない継続的な通過通航の回復
- **パワー・アジア**を通じたエネルギー安全保障及びサプライチェーン強靱性の強化、適切に機能する安定的で透明な市場及びルールに基づいた貿易の維持、備蓄強化のための連携促進、産消連携の重要性を認識
- **AZEC**の下での脱炭素・経済成長・エネルギー安全保障の同時実現と強靱化

日ASEAN首脳声明　概要

2．声明概要（続き）

2026年11月　外務省地域政策参事官室

イ　食料安全保障

- ASEAN-日本MIDORIプランの下、再生型・強靱な食料・農業システムの構築

ウ　サプライチェーン強靱化

- **重要鉱物等の重要物資**の透明性・多様性・信頼性ある**サプライチェーン構築の促進**
- 過剰生産を生じさせる**市場歪曲的な慣行**や**経済的威圧に対する懸念に留意**
- WTOを中核とするルールに基づく貿易体制へのコミットメント
- **日・ASEAN経済連携協定見直し**プロセス開始を歓迎
- 具体的取組例：世銀・ADB等との連携を通じた取組、経済安保関連ODAや経済安保海外事業促進制度を通じた連結性強化、地域金融協力の推進、JICA「日ASEAN経済安保リーダーシップ・プログラム」やシンクタンク間協力を通じた能力構築　等

Ⅱ．デジタル・トランスフォーメーション（DX）・AI・イノベーション

ア　AI協力

- 安全・安心・信頼できる**AIエコシステムの共創**
- **日ASEAN・AI共創イニシアティブ**の下での協力の更なる拡充・加速化
- **「AI安全性・セキュリティに関する日ASEANパートナーシップ」**の立ち上げ
- 将来の日本主催AIサミット開催を視野に、AI協力の強化に共に取り組む
- AI活用によるスマートシティ・廃棄物管理の推進

イ　デジタル

- **FOIPデジタル回廊構想**等を通じたデジタルインフラ整備における協力
- データ流通・ガバナンスの促進
- AI、量子技術、次世代通信技術等の重要・新興技術分野における研究開発・連携の促進